



学校だより

児童数：619名（男：342名 女：277名）

学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに



どんぐり

自分の努力、そして勇気を与えてくれた 周囲の方々に感謝・・・



校長 戸野塚 晃

9月の6日～8日まで5年生の引率で館岩自然の教室に行っていました。全ての日程が滞ることなく実施され、大きなトラブルもなく無事に帰校することができました。児童にとって赤々と夜空を照らすキャンプファイヤーの火も、プラネタリウムさえも圧倒するほどの星空と天の川も、焼き板の煙と焚火で食べるジャガイモの美味しさも自然の醍醐味の中で体感した宝物になりました。しかし、さいたま市と変わらない気温の高さも感じました。もはや東北地方の自然の美しさと涼しさというものも残念ながらこれからの温暖化の波にのまれていくのかもしれませんが、今後とも保護者、地域の皆様もご自愛ください。

焼き板の様子

さて、右下の画像をご存じでしょうか。3週間ほど前に終了したパラリンピックのある競技の表彰式の時に歓喜している選手の画像です。種目はゴールボールという種目で、視覚障害のあるアスリートがアイシェードという目隠しをして3対3でボールを投げ合ってゴール数を競う競技です。バスケットボール程度の大きさのボールに鈴が二つ入っていて、その音を頼りにディフェンスしたり、ゴールを狙ったりする運動量の多いスポーツで「静寂の格闘技」とも言われている激しい競技です。この種目で初の金メダルを勝ち取り、喜びを爆発させるこのメンバーの様子を見ると、個々で積み重ねきた努力とチームとしての細部にわたる準備と関係する多くの方々の支援の大きさが想像できます。

ゴールボール男子の喜び

実は、この競技のキャプテンでもあり、そして本校の卒業生でもある金子和也選手（画像左から2番目）の大会後のコメントの一部紹介します。

日本のゴールボールチームを応援して下さった皆様、皆様の応援が力となって金メダルを獲得することができました。本当に「勇気」をいただき、力いっぱいプレイをすることができました。～中略～ 結果を形にして皆様に「感謝」をお伝えすることができて、本当にうれしいです。ぼくたちだけでは立てない、ぼくたちだけでは見ることのできない表彰台のてっぺんに登れたこと、「ご支援」「ご声援」くださった皆様と「最高の仲間へ感謝です」……。 (略)

彼は、小学校の中学年あたりから視神経の難病が発症し、大好きだった少年野球も活動を制限されることになったそうです。中学では野球部のマネージャーとして活躍し、家族の勧めで中学3年の時にゴールボールに出会います。野球で鍛えた運動能力と持ち前の明るさで見ると才能が開花していき見事に今回の結果を手にすることができました。しかし、コメントに表現されることのない彼の日々の積み重ねには、おそらく私たちがメディアから得る情報よりはるかに超えた努力があったことは容易に想像できます。それでも幼いころの夢を切り替えて、そして、遥か彼方のゴールを目指して取り組んできた彼の意志の強さと、この途方もない道のりに関わったいたみなさんへ「勇気」と「感謝」というワードで答えた彼の心の豊かさに私は心底感心しています。彼のメッセージから伝わる飽くなき向上心と、他者への思いやりの精神などをぜひ、いずれかの機会に子どもたちに伝えたいと考えています。できれば、本人から聞けたら最高だと思います・・・。

やっとな秋の装いが感じられるようになりました。児童の健康、体力向上、そして、学校での教育活動の充実も含めまして引き続きの地域、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

能登半島を襲った豪雨とその関連の事故によって犠牲になられた全ての方々にお悔やみ申し上げます。また、被災者の方々に衷心よりお見舞い申し上げ、被災地の皆様の安全と一日も早い復興をお祈りしています。